

登録コード	EKF26900	開講年度	2026				
授業科目	音楽科授業分析演習					担当教員	桐原 礼 他
英文授業名	Seminar on Lesson Analysis (Music)					副担当	井田 勝大・田島 達也・齊藤 忠彦・中島 卓郎
単位数	1	講義期間	後期(隔週A)	曜日・時限	火曜・5時限		履修学年
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】					【授業の達成目標】	
	26EAカリ、25EAカリ、24EAカリ						
	教育の専門職としての学識・技能					音楽科教育の実践・授業記録の分析方法について、実践・授業の記録の作成および記録の分析ができる。	
(2)授業の概要	演習形式で、音楽教育学の専門性を元に、音楽科教育の実践や授業の記録・分析方法について学ぶ。また、各自の課題に対応した実践・授業記録を実際に分析・検討し、授業作りにつなげていく。						
(3)授業計画	第1回：音楽科教育の実践・授業の記録および分析方法についての理論 第2回：音楽科教育の実践・授業の量的記録に関する記録・分析方法 第3回：量的データ分析の演習 第4回：事例の記録の量的分析と検討 第5回：音楽科教育の実践・授業の質的記録に関する記録・分析方法 第6回：事例の記録の質的分析と検討 第7回：実践・授業記録の分析に基づいた学習過程の改善・構想（レポート提出）、授業アンケート 各回とも教員2名によるTTで指導をする（分担、単独等は適宜対応）。 教育実習で欠席した学生がいる場合は、個別に課題を提示し、提出を求める。						
(4)成績評価の方法	・各回の発表内容（40％）、質疑応答・議論の内容（20％）、およびレポート（40％）によって評価する。 ・評価割合は、若干の調整をおこなうことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。						
(5)履修上の注意	内容によって、授業日程や開催場所を変更することがある。 履修に当たっては、自らの研究課題を考慮し、指導教員と相談の上で決定すること。 この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(6)質問、相談への対応および連絡先	オフィスアワー：担当教員への質問・連絡方法は、各自担当教員と相談して決定すること。 なお、別表「担当教員のオフィスアワー」を参照すること。 【代表：桐原 礼 メールアドレス：kiriaya@shinshu-u.ac.jp】						
(7)成績評価の基準	90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可 「卓越している」：(1)研究課題，(2)理論的枠組み，(3)授業内容と専門性，(4)研究の意義，のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「かなり上である」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち2つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「やや上にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「水準にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また，研究課題に関連した文献等を，図書館等で検索・収集し，研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり，吟味したりすること。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について，事後に各自で調べて再検討すること。						
【教科書】	適宜紹介。						
【参考書】	適宜紹介。						